

八王子市議会レポート

No.55 2012年4月25日



# つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派 北野台在住

編集/発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://jinnai.ne.jp/

## 2012年度 予算決まりました。 でも…不安がいっぱい！

新市長のもとでの骨格予算で、一般会計は 1812 億円。昨年より 43 億円減です。ほぼ、市の財政の根幹である市税収入は、899 億円との予測ですが、これは年少控除の廃止による増があり、市民生活の大変さから考えると、この収入確保はきわめて難しいのではないかと考えます。また、臨時財政対策債という借金を 48 億円含んでの予算であり、今必要なのは、攻めのまちづくりではなく、市民生活の安心を作り出すための身の丈にあった行政

運営が求められます。陣内やすこは、

- ① 国民健康保険税アップに反対
- ② 東海病院、医療センターへの 5,5 億円の不透明な支援(小児医療は別)
- ③ 地方財政措置されている学校図書館担当職員費があるにもかかわらず、進まない学校図書館人的支援
- ④ 計画がずさんな八王子駅北口駅前広場整備に 14 億円あまりの支出
- ⑤ すすまない放射能対策

などを理由に、**反対**しました。

市長選挙 (2012年1月23日)

投票率 34.95%

石森 たかゆき 74273 票

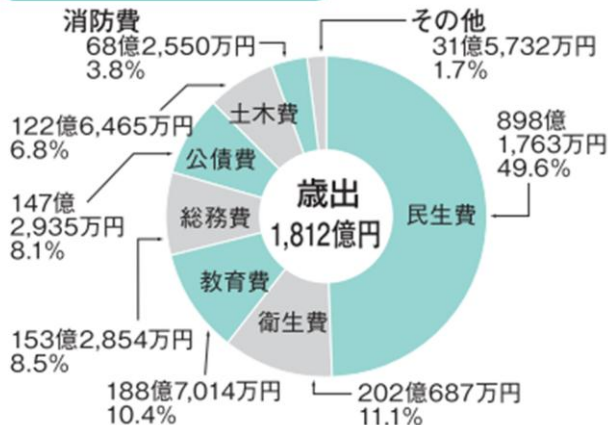
もろずみ みのる 62674 票

峯岸 ますお 17618 票

\*石森新市長は、黒須市政 12 年の継承をかかっています。この結果を見るならば、批判票が上回っている。こういった市民の声に耳を傾けるべきです。



### 一般会計予算の内訳



広報はちおうじ 2012.3.1

さらに充実!! ネットで情報発信

ブログ <http://jinnai.ne.jp>

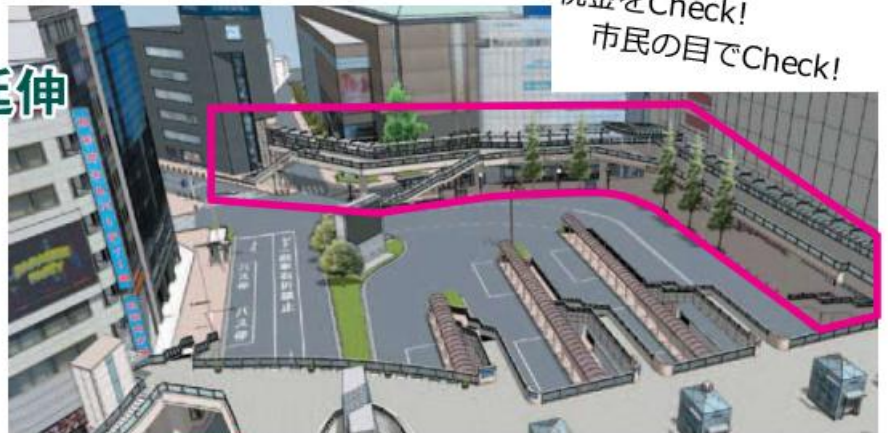
陣内やすこ

検索

## 八王子駅北口 マルベリーブリッジを延伸

八王子駅北口にさらなるにぎわいを創出するため、マルベリーブリッジの東放射線方向への延伸整備を行います。工事着手は今秋を予定しています。延伸部には、エレベーターやエスカレーターなども設置し、歩行者の安全性と利便性の向上を図ります。

問い合わせは建設課(☎620・7278、FAX627・5925)へ。



▲完成予想図。      内が延伸部分 広報はちおうじ 2012.3.1

マルベリーブリッジの使い勝手が悪い、というのは、多くの方々からお聞きするご意見です。しかしそれは、バス乗り場を間違えると、あがったり降りたりしなければならない、ということであったり、東急スクエアなどの商業施設につながっていない、ということではないでしょうか。ところが、今回、市が提案して来たのは、京王八王子方面へのブリッジ延伸計画で、全体的な駅前広場の青写真は示されていません。

そんな中、約14億円(10m1億円)の予算を使って、地下通路入口を封鎖し、かつ京王プラザ前の交差点をブリッジで渡るようにするというものです。エレベーター、エスカレーターは設置されるのですが、三井住友海上ビル前の道路は狭く、かえって危険が増し、通行しにくくなるのは目に見えています。

クルマ優先ではなく、歩く人中心の駅前広場にするために、地表面での整備が先です。

これから、調査したり、専門家のご意見を伺いながら、対案をしっかりと出していきます。

ぜひ、皆様のご意見もお聞かせください。

## 市政報告一つづき

■ 学童保育所の預かり年限(小学校6年まで)の延長を求める請願が提出されました。障がい児をもつ働く保護者にとって、学童保育所は子どもの安全な居場所です。多くの自治体で、小学校6年までの延長が実施されています。中学校までというところもあります。八王子においても、早期に実現させたいものです。

■ 国民健康保険税を値上げをしないで、との請願は、残念ながら賛成(陣内、共産党、生活者ネット、社民党)少数で、採択されませんでした。所得の低い人ほど、その影響大です。



### 女川町、南三陸町視察報告 (4月13日から14日)

女川町のがれき中間処理施設の視察と南三陸町のさんさん商店街行ってきました。がれきの中間処理施設は、東京都の委託で分別搬出され、広域処理として東京都に運ばれています。八王子でも戸吹清掃工場の余裕が出来たら受け入れたいと表明されていますが、住民説明会はこれからです。なぜ、広域で処理をしなければならないのか?ずっと疑問です。視察したあともその疑問は解決しませんでした。地元での有効利用、そして、焼却の具体計画がまず大事です。仙台市は夏にはがれき処理が終了するとの事。地元で手早く処理をした結果です。(詳しくはHP掲載)

